山田 修 東海村長就任インタビュー

地域の持続可能な豊かさを次世代につなぐ

9月に行われた東海村長選挙で4期目の当選を果たした山田修村長。4期目について、これまでの3期12年の延長線ではないと強調した上で、豊かな東海村を次世代に引き継いでいきたいと意欲を見せる。次代を担う若い世代への支援や村発足70周年への思いを語ったほか、村が取り組む主な建設事業について解説。地域の建設業者には、インフラ基盤整備や災害対応などの活動に感謝を表すとともに、今後の活躍に大きな期待を寄せた。

やまだ・おさむ　1961年生まれ。64歳。86年に茨城県庁に入庁し、2013年に東海村村長に初就任。今年9月の村長選挙で4期目当選を果たした。趣味はランニング。勝田マラソンには毎年欠かさず参加しており、今回も住民先行枠で早々に申込済み。サブ5（5時間以内）での完走を目指す。「夏の猛暑で思うように走れなかった分、これから調子を上げて本番に臨みたい」と笑顔と自信をのぞかせる。

4期目の抱負・意気込みについて

4期目は「次の世代へ豊かな東海村を引き継いでいく」を目標として掲げた。この村に暮らしている人には、豊かさを実感して満足度を高めてもらい、それを次の世代につないでいくための基盤をつくっていく4年間にしたい。

これまで務めてきた3期12年の延長線上ではなく、大切な4年間になると認識している。村の人口減少が顕著となっており、転入者を呼び込む取り組みが必要。行政サービスを充実させるだけではなく、区画整理を進めている中央地区の造成や、新築可能なエリアを着実に増やしてく必要がある。

このほか、交通や医療など安全安心な部分も含めて、行政だけではなく、民間活力を取り入れながら一体となって、環境を整備していきたい。こうした取り組みが、次の世代に向けた持続可能な東海村をつくっていくベースになると思っている。

次代を担う若者に向けて

3期目の時は、子育て世代に向けた支援を重点的に行った。現在でも、保育の受け皿を確保するため、新舟石川保育所の整備に向けた準備を進めている。そういったハード整備は継続しながら、4期目では、結婚・子育てをする前の世代、若い世代の人たちへの支援を強化していきたいと考えている。

若者の声にしっかり耳を傾け、政策に反映していきたいと思い、2023年ごろから高校生や大学生にワークショップに参加してもらい、柔軟なアイデアや具体的な提案を出してもらっている。今後も続けていくことで形にしたいと思っている。

若い人たちが実現したいことを村とともに取り組むことで、夢や希望を感じてもらえたらうれしい。

当然ながら若者世代以外の世代についても、取り残すことなく世代ごとに必要なフォローや支援を行っていく。

若者の夢や希望を応援

TOKAI 76

村発足70周年を迎え

1955年に村村と村松村が合併して「東海村」が誕生し、その翌年の56年には本村への日本原子力研究所の設置が決定された。その後、原子力とともに村は発展し、道路や公共施設も整備され、人口も増えた。現在、村の人口は約3万8000人と、ほどよい規模感で、地域の特性はありながらも、村全体に一体感を感じている。

いい村になったので、このまま80年、90年、100年と、「東海村」の名称として100周年が迎えられればと思っている。

この先、人口が増えることは考えにくいが、維持できるだけのポテンシャルは持っている村だと思っている。地域の魅力を守り続け、住民や訪れる人々がうらやましく感じる東海村であり続けたいと思っている。

主な事業の取り組み

【村松地区活性化】

村松地区では、国道245号の4車線化をはじめとしたインフラ整備が進んでおり、村では同地区の地域活性化に向けた計画をまとめ、阿漕ヶ浦周辺における面整備を計画している。本年度は基本計画を策定し、ハード面とソフト面において方向性を決める。地区内に必要な機能・施設を検討し、誰がつくるか、誰が運営していくかなどを考えていく。

【雨水浸水被害対策】

雨水排水対策は、雨水管やU字溝のサイズを大きくできればいいが、入れ替えるのは時間と費用がかかるため現実的ではない。村では、駐車場等の地下に雨水を貯留する施設設置を進めている。

既に、文教地区駐車場1期工事で整備済みであり、本年度は集会所の駐車場地下にも整備するほか、将来的には、役場庁舎駐車場の改修に合わせて、貯留施設を設置することも見込んでいる。

このほかの箇所にも効果的な場所を選び、今後整備を進めていきたいと思っている。

【新産業・スタートアップ支援】

昨年、「産業振興ビジョン」を策定したところであり、新産業やスタートアップ企業の進出を支援するための施策を検討している。なお、原子力機構では初のスタートアップ企業、エマルションフローテクノロジーズ社が23年9月に、白方地区のNTT跡地に立地しており、成果を上げている。原子力機構で研究した技術が市場ニーズにマッチング、ビジネスとして成り立っていくのが理想的だと思っている。

企業誘致に備えた基盤整備も必要と考えており、様々な環境づくりや仕組みづくりを通して、東海発のオープンイノベーションを実現したい。

文教地区駐車場でも雨水排水対策を実施

初登庁で志を新たに

地域建設業者に向けた期待

日ごろからのインフラ基盤整備や各種ボランティア活動のほか、災害時の迅速対応には心より感謝申し上げる。いざという時に一番頼りになるのは建設業者だと思っている。最近では、2代目3代目代替わりした業者も多く、若い社長の皆さまにも大いに期待している。

村内の建物も老朽化が進んでおり、今後建て替えの必要が出てくることもある。その際の施工や、建てた後の維持管理においても、地域の建設業者の努力は不可欠。村としても今後一定の事業量は確保していく。入札の公平性や競争性を担保しながらも、地元の建設業者を中心に請け負ってもらいたい。

社会資本整備を通して、東海村の発展に貢献いたします

東海村建設業協同組合

〒319−1118 那珂郡東海村舟石川駅東3−15−14　TEL 029−282−9242　FAX 029−282−4823

理事長　澤畠　弘樹　　副理事長　大城　辰也

㈱オーヌキ	東海村舟石川駅西3-11-14	029-282-2015	㈱佐藤工務店	東海村白方599-10	029-282-3210	東康建設工業㈱	東海村白方538-2	029-282-2626
大仁建設㈱	東海村白方中央1-21-24	029-282-1330	㈲沢畑土木	東海村石神内宿1630	029-282-4790	東豊建設㈱	東海村豊岡379	029-282-2505
㈱河野工務店	東海村東海2-1-19	029-282-1333	㈱三建工業	東海村石神内宿2265-2	029-287-0352	㈲日本建商	東海村石神内宿2482-1	029-283-3163
環境保全事業㈱	東海村村松1033-1	029-282-8855	鈴懸工業㈱	東海村村松字勝木田2039-15	029-306-2570	ネモト建設工業㈱	東海村東海3-8-48	029-282-3208
㈱関東総建	東海村石神外宿1435-2	029-287-1641	㈲大建工業	東海村村松北2-1-2	029-283-3636	弓山建設工業㈱	東海村東海1-1-23	029-282-1746
㈱コーワ	東海村舟石川632-9	029-283-2202	㈱大興建設	東海村東海2-1-18	029-282-8590			